



がんとリハビリテーション（後編）

先月号に引き続き、今回はがんリハビリテーションの**周術期リハビリ（術後）**についてご紹介いたします。周術期がんリハビリテーションは予防的、回復的リハビリテーションが中心となっています。

当院ではクリニカルパスに沿って、**術後翌日より**ベッドサイドでのリハビリテーションが行われています。クリニカルパスとは、検査や治療の予定をタイムスケジュールに示した治療計画書になります。

手術後寝たきりの期間が長くなると、全身の筋力低下や呼吸機能の低下、認知機能の低下などをきたします。そのため、全身状態に注意しながら、出来る限り早期から離床が出来るようにリハビリテーションを行っております。

例) 開腹術後クリニカルパス

<術後1日目>

呼吸・全身状態・痛みの確認
寝返り、起き上がり、座る
練習を開始



<術後2日目>

立ち上がり、歩行補助具
（歩行器など）を使用し
歩行練習を開始



<術後3日目以降>

安静度フリー
機能回復リハビリ開始
自宅退院に向けた生活訓練へ



ひとことコラム がんのリハビリテーション研修会

がんは様々な臓器に発生し、がんやがん治療に伴い引き起こされる障害も多様であることから、特に多職種によるチーム医療が重要です。がんのリハビリテーション研修会は、患者様にリハビリテーションを提供する上で必須となっています。研修会に参加するにあたり、同一施設より**医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**が1つのチームとなり、各種専門職種に必要となる知識・スキルアップを身に付け、多職種共同で資格取得を行ないます。



2021.11.7 Webでの
がんのリハビリテーション研修会の様子

医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。

■施設基準

- 心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
- 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
- 廃用症候群リハビリテーション料
- 運動器リハビリテーション料Ⅰ
- 呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- がん患者リハビリテーション料
- その他：摂食機能療法

心臓リハ部門



主任 理学療法士
津久井亮

病院リハ部門



主任 理学療法士
丸山あすみ

通所リハビリテーション関越中央

1～2時間の短時間通所リハ，6～7時間の長時間通所リハを行っております。

相談員業務をリハ職が行うことにより，利用者様に合わせた最適なプランを提案させていただきます。



科長 理学療法士
高井智子



主任 理学療法士
狩野和子

訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで，心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用頂けます。



主任 作業療法士
宮崎郁里

受け入れ状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00～10:15	△	△	○	○	○
短時間型通所リハ 2クール 10:30～11:45	△	△	△	○	△
長時間型通所リハ 9:00～15:15	△	○	△	○	△

受け入れ状況	月	火	水	木	金
訪問リハビリ 13:00～17:00	△	△	○	○	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

各事業所に，理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が在籍しています。

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115（代）FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

広報担当：宮崎 片貝 川合 小泉 古屋 嶋田